

修学旅行の意義・目的

- (1) 事前準備を含むクラス別、班別活動を通じて、問題解決に必要な情報収集、処理能力を身につけ、協調性や自主性、責任感を養成する。
- (2) 団体行動を通して、クラス・学年の和を培う中で、友情を深めるとともに、集団行動のきまり・公衆道徳を身につける。また、集団の構成員としての健康管理や安全確保のあり方を考える。
- (3) 北海道の自然・文化・産業・生活などに触れることで、視野を広めるとともに、本県の風土と多面的に比較することにより、地域性や自然環境の違いを認識し、郷土と旅行先のすばらしさや独自性を実感する。

修学旅行について

校長 島田政輝

中学生や高校生に学校生活で印象に残っていることを尋ねると、返ってくる答で圧倒的に多いのが部活動と修学旅行の思い出です。では、なぜ、それほどまでに修学旅行が強く印象に残っているのでしょうか。それは、おそらく、日々の学校生活では経験できない印象深い内容がぎっしり詰まっているからだと思います。

普段訪れる機会のない地方を訪問し、見学や現地の人々との触れあいを通じて、それまで本やテレビでしか知ることのできなかつた未知の自然や文化、風習を身体で感じ取ること、強い印象が脳裏に刻まれることと思います。

そして、寝食を共にする級友たちとの4日間の中で、昼間の班別・クラス別の研修や夜のレクリエーション、部屋での語らいなどを通して、級友たちの新しい魅力を発見したり、人の和の温か

さを感じ取ったりすることで、生涯かけがえのない思い出ができると思います。

今回の修学旅行は、行き先をこれまでの富良野・美瑛をはじめとする道央方面から、釧路・網走に代表される道東方面に大きく変更しました。この地方は、北海道でも特に自然に人間の手が触れられていず、自然が色濃く残っている地域と言われています。旅行では、一昨年わが国で3番目にユネスコの世界自然遺産に登録された知床半島も訪れますが、そこには数少なくなった野生動物や原始的な自然景観も多く残っており、香川に住む君たちにとっては、おそらく、これまで見聞したことも、経験したこともない大きな感動を覚えることでしょう。

また、自然のすばらしさだけでなく、様々な訪問や行事を通じて北海道の歴史や文化についての貴重な知識を得ることもできると思います。ぜひ、総合的な学習の時間等を利用して行った事前学習の成果を十分生かしながら、北海道のすばらしさを体一杯に感じとってきてください。

更に、宿泊先や訪問先では、たくさんの方々のお世話になるでしょうが、そこでの新たな出会いや触れ合いを通じて、北国の人々の暖かい心情に触れることができるでしょう。

そして、旅行中でのこれらの貴重な経験を通じて、君たちが人間的にも一回り大きく成長するものと期待しております。

最後に、今回の修学旅行が君たちにとって、すばらしいものとなるためには、何よりもトラブルのないことが大切です。そのため、修学旅行が集団活動であることをしっかり自覚し、一人一人が規律ある行動を常に心がけるとともに、健康や事故に十分留意することが大切です。みなさんの生涯の思い出に残るすばらしい修学旅行になるよう願っております。